

2022年1月28日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都千代田区神田錦町一丁目2番地1
 イオンリート投資法人
 代表者名 執 行 役 員 関 延 明
 (コード: 3292)

資産運用会社名
 イオン・リートマネジメント株式会社
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 関 延 明
 問合せ先 常務取締役 経 営 管 理 井 戸 坂 智 祐
 (TEL. 03-5283-6360)

DBJ Green Building 認証取得に関するお知らせ

イオンリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本投資法人が保有する7物件（イオンモール新小松、イオンモール盛岡、イオンモール倉敷、イオンモール直方、イオンモール新利府 北館、イオンモール高崎、イオンモール成田）について、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」といいます。）より、DBJ Green Building 認証を、本日付で取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. DBJ Green Building 認証制度の概要

DBJ Green Building 認証は、対象物件の環境性能に加え、当該物件を取り巻く様々なステークホルダーからの社会的要請への配慮等を含めた総合評価システムに基づき、現在の不動産マーケットにおいて求められる環境・社会への配慮がなされた不動産（Green Building）を評価・認証するものです。

なお、DBJ Green Building 認証の内容等については、以下をご参照ください。

DBJ Green Building 認証ウェブサイト：<http://igb.jp/index.html>

2. DBJ Green Building 認証の評価ランク

物件名称	所在地	評価ランク
イオンモール新小松	石川県小松市清六町	2021★★★★★
イオンモール盛岡	岩手県盛岡市前潟四丁目	2021★★★★★
イオンモール倉敷	岡山県倉敷市水江	2021★★★★★
イオンモール直方	福岡県直方市湯野原二丁目	2021★★★★★
イオンモール新利府 北館	宮城県宮城郡利府町利府字新屋田前	2021★★★★★
イオンモール高崎	群馬県高崎市棟高町	2021★★★★★
イオンモール成田	千葉県成田市ウイング土屋	2021★★★★★

※イオンモール盛岡、イオンモール倉敷及びイオンモール直方は再認証となります

イオンモール新小松



DBJ Green Building
2021 

国内トップクラスの卓越した
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール盛岡



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール倉敷



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール直方



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール新利府 北館



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール高崎



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

イオンモール成田



DBJ Green Building
2021 

きわめて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされたビル

3. 認証にあたり評価を受けた点（一例）

(i) イオンモール新小松

小松食回廊の吹き抜けの大規模窓面からの採光、バックヤード照明への人感センサーの設置、共用部照明のLED化、節水型の水栓及び便器の設置等により、施設の省エネ・省資源を促進している点

(ii) イオンモール盛岡

外気冷房の実施やトップライトによる昼光利用、共用部のLED化や節水型水栓の採用等により、施設の省エネ・省資源を促進している点

(iii) イオンモール倉敷

EV車充電スペースの確保、モール内へのソファやテーブルの設置、イオンモールウォーキングの実施、タッチ式案内パネルの多言語対応等により、利用者の快適性・利便性・健康性に配慮した取り組みを行っている点

(iv) イオンモール直方

全熱交換器の設置、トップライト部分全体への遮熱塗料等の採用、節水型水栓の採用等により、施設の省エネ・省資源を促進している点

(v) イオンモール新利府 北館

多数の生木の植栽を店内に配置するほか、無料Wi-Fiの実施、モールウォーキングの実施等により、利用者の利便性・快適性・健康性に配慮した取り組みを行っている点

(vi) イオンモール高崎

子供関連設備の整備、ユニバーサルデザインのEV・トイレの設置、多言語対応の施設案内等により、利用者の多様性へ配慮している点

(vii) イオンモール成田

壁面緑化や遊歩道の整備により周辺環境に配慮しているほか、使用電力量の見える化により省エネ啓発を行うなど運用面での配慮も積極的に実施している点

4. 今後の対応

イオングループでは、持続可能な社会の発展に向けたグループ全体の方針である「イオンサステナビリティ基本方針」のもと、環境面では、「脱炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源循環の促進」、社会面では、「社会の期待に応える商品・店舗づくり」、「人権を尊重した事業活動の実践」、「コミュニティとの協働」を重点課題に設定し、各課題への対応を進めることで、サステナブル経営を推進しています。

また、近年、資産運用業界において、ESG 配慮の必要性が広く認識されつつあります。これは、環境規制の強化やテナント・顧客の意識変化などを踏まえ、資産運用業務における ESG への配慮が中長期的な資産価値の維持向上のために必要不可欠であるという考え方によるものです。

本投資法人は、「商業施設等への投資を通じて人々の豊かな生活の実現と地域社会へ貢献すること」を基本理念とし、「地域社会の生活インフラ資産」への投資を通じて中長期にわたる安定した収益の確保を目指しています。

本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社であるイオン・リートマネジメント株式会社は、2016年1月14日に「サステナビリティに関する方針」を制定しており、こうした理念や目標を実現するため、イオングループと連携して、業務全般における ESG への配慮と、そのためのステークホルダーとの協働を図ってまいります。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.aeon-jreit.co.jp/>